

平成29年度 経済部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策（経済部関係分）

政策 02	政策展開の方向性
産 業	<p>地域における活発な産業活動は、雇用を創出して活気のあるまちをつくります。</p> <p>北海道最大の都市である札幌市に隣接している立地を活かした都市型農業の推進、地域の特性を活かし、産業間連携や産学官連携等による商工業の振興と新たな地域資源の掘り起しによる観光振興などによって地域経済の活発化を図るとともに、新しい産業振興策の展開に取り組みます。</p>
	平成29年度の取組状況報告
	02-01 都市型農業の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域農業や生産性・安定性の高い農業経営を実現するため、国や北海道の制度を活用するほか、道央農業振興公社と連携し、農業の担い手の育成・確保や農地の集積を進めてきました。また、平成29年度における「農作物等販売実績」は、農作物が概ね順調に生育したこともあり、台風の影響を受けた平成28年度と比較し、約1.2億円増となりました。 ・市民が誇れるブランド品を維持・拡大し、消費の拡大等を推進するため、黒毛和牛の精液購入費等への補助のほか、江別産小麦製品の維持・拡大に欠かせない小麦品種「きたほなみ」の収量を一定程度確保するための補助を実施しました。また、加工新商品開発等の支援補助3件のほか、江別産の農産物加工品をPRするブランド認証では、平成29年度は新たに2件認定され、認定数は11件となりました。さらに、平成29年4月にオープンした「都市と農村の交流センター」のテストキッチンを活用することで、生産者の6次産業化を支援してきました。 ・農業生産基盤の安定・向上を図るため、国営かんがい排水事業や道営事業により、農業用排水施設を整備したほか、地元からの要望等を踏まえ、計画的に排水路改修を進めました。また、鳥獣による農業被害の軽減のため、江別市鳥獣被害防止計画に基づき、地域保全会や鳥獣被害対策実施隊等により捕獲を行いました。 ・市が支援する『江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会』が行う事業などにより、個別計画の進捗状況を示す「グリーンツーリズム関連施設の利用者数」は、昨年度に引き続き高い数値となり、都市と農村の交流が図られました。また、第2次江別市食育推進計画に基づき、小学生の農業体験学習や小麦追跡学習等を行ったほか、中学生を対象にした「お弁当コンテスト」を5校で実施するなど、ライフステージごとの食育を推進しました。
	02-02 商工業の振興
	<ul style="list-style-type: none"> ・フード特区構想に掲げた「食品の安全性・有用性の分析評価と研究開発の拠点」を目指すため、北海道情報大学が実施する食の臨床試験「江別モデル」への支援や、健康カードの利用促進と食の臨床試験ボランティアの登録[8,706人(H30.3末)]に向けた普及啓発を行いました。 ・江別市のフード特区に関する取り組みや、市内における食関連産業の立地の優位性などをPRするため、都内レストランにおいて、首都圏企業などを対象にした「美味しい江別ナイト」を開催し、71名が参加しました。 ・江別市内の食関連企業における海外への販路拡大を支援するため、シンガポールにおいて「江別フェア」を開催し、市内企業4社が試食・販売を実施し商品のPRを行いました。 ・企業誘致促進と既存企業の事業継続支援による地域経済活性化、雇用の場の創出を図るため、食関連企業を中心とした企業訪問(169回)や首都圏でのイベントに出展(2回)し、補助制度PRIによる誘致活動を実施しました。平成29年度は企業4社が工業団地内に新たに立地しました。また、新たな工業用地確保に向け、関係する地権者等と協議(23回)を行いました。 ・市のホームページ上に企業PRガイドを掲載し、市内に立地する企業の持つ技術や生産設備、製品・サービスなどの情報を市内外に発信しており、平成29年度末現在で46企業のPRガイドを掲載しています。今後、さらに市内企業間の連携や新規ビジネス、市場開拓の促進を図ります。 ・中小企業の経営の安定性を高め、生産力向上により地域経済の活性化を図るため、平成29年度は、江別商工会議所や金融機関と連携した各種融資制度を運営するとともに、市内企業・団体による経済活性化のためのイベント開催、販路拡大のための商談会出展などを支援しました。 ・新製品、新ビジネスの創出に取り組むネットワークの構築を目指し、企業や大学・研究機関との連携などによる共同開発や共同研究を促進しました。 ・就業機会の確保や職務能力向上に向けた支援を行い、市内企業が必要な人材を確保でき、求職者が希望に沿った就労ができる状態を目指しました。29年度は、働きたい女性のための就職支援事業として、就職相談窓口の開設や就職に向けた研修や実習による人材育成支援、ハローワークと共催したマザーズセミナー、はたらくキモチ応援フェア等を実施しました。その他、市内大学の学生を対象とした有給インターンシップによる市内企業との接点づくり、高校生対象の就業体験や面接指導等による就職活動支援を実施しました。 ・やきもの市などのイベント開催を支援したほか、市外での物販イベント・商談会への出展などを通じ、新製品開発・販路拡大に向けた市内企業の取り組みを支援しました。 ・高齢化の進展など経済社会情勢の変化や地域特性を踏まえた個性的で魅力ある商店街づくりを進め、地域住民の利便性の向上や地域社会(コミュニティ)活動の拠点としての機能を高めるため、商店街コミュニティ活動の啓発セミナーを継続実施し多様な主体の参入を促すとともに、江別の顔づくり事業の一環として野幌商店街に地域課題の解決を目的としたコーディネーターの常設を継続し、各種相談に対応しました。

02-03 観光による産業の振興

・「食と農」、「歴史あるれんが」を軸にした観光資源と、札幌市に隣接している立地的な強みを最大限に活かすため、まずは道央圏からの誘客を目指す江別市観光振興計画を策定しました。

・市内にある自然や歴史的遺産、また新たな観光資源を発掘して地域資源として活用し、市外への魅力発信により江別の認知度の向上を図り、観光誘客を進めるため、JAF(日本自動車連盟)のサイトにドライブコースを掲載したほか、EBRIを拠点として市内に設置された問題を解いてまわるリアル謎解きゲームを実施するなど、街並みの魅力発見のための観光ルートを提供しました。また、観光資源として東野幌にあるノハナショウブ群生地の保存活用を図りました。

・江別のまちを知ってもらい、江別市に来てもらえるよう、江別観光協会と協力しながら、観光パンフレットの作成配付、ホームページ・メールマガジン等により、様々な観光情報を発信しました。さらに、地域おこし協力隊を活用した地域資源の発掘や情報発信のほか、外国人観光客に対応するため、英語版観光パンフレットを作成しました。また、江別アンテナショップGET'Sでの観光案内・観光情報の発信に取り組むとともに、市内で開催されるイベント等を支援しました。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H27年度	H28年度	H29年度	目標
農産物等販売実績(JA道央江別市分のみ)	百万円	4,521	4,855	4,719	4,838	↗
製造品出荷額等	百万円	85,201	92,025	87,505	93,731	↗
観光入込客数	人	768,000	926,114	1,046,102	915,337	↗

経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況

「江別市農業振興計画」 1経営体あたりの平均経営面積	a	1,409	1,771	1,776	1,774	↗
えべつの農産物加工品認定数	件	0	7	9	11	↗
農村環境の保全に取り組む団体数	件	7	9	9	9	↗
グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	423,000	528,866	526,212	580,762	↗
「企業誘致推進事業」 立地企業・事業所数	社	0	1	2	4	↗
「企業立地等補助金」 補助金認定件数(累計)	件	22	24	27	30	↗
「総合特区推進事業」 食関連企業の新増設数	件	0	1	2	0	↗
「商工業活性化事業」 補助金の活用件数	件	31	21	15	10	↗
「地域発見魅力発信事業」 主要観光施設の観光入込客数	人	126,000	239,800	434,444	348,600	↗

政策 04 安全・安心	政策展開の方向性							
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。							
	平成29年度の取組状況報告							
	04-01 安全な暮らしの確保							
	・消費者被害に遭わず安心して暮らせる社会を目指し、29年度は、消費者からの相談に迅速かつ的確な対応や、江別市消費者被害防止ネットワークを開催することで関係機関と連携して被害の未然防止のための啓発に努めました。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	82.2	83.1	81.9	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	52.5	56.3	55.9	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.4	93.2	93.5	↗
	経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「消費者保護育成事業」消費生活相談件数		件	591	510	526	740	↘	

政策 07 生涯学習・文化	政策展開の方向性							
	市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにします。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。							
	平成29年度の取組状況報告							
	07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造							
	・多くのれんが建造物が残され、道内で唯一れんがを生産しているまちであることを誇りに思えるような市民意識の醸成を図るため、旧ヒダ工場(EBRI)の保存・活用事業を継続するとともに、生産の場であったEBRIにおいて、ものづくりの文化・歴史を身近に感じてもらえるよう、ものづくりワークショップを開催しました。 ・EBRIの更なる活用に向け、物販飲食スペース・外構整備を行いました。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合		%	33.2	28.5	24.4	28.1	↗
	文化・芸術活動に参加している市民割合		%	18.3	17.3	11.8	16.5	↗
	週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合		%	40.2	37.8	40.0	39.8	↗
	経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「歴史的れんが建造物保存活用事業」歴史的れんが建造物の利活用件数		件	9	5	3	3	↗	

2. えべつ未来戦略(経済部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
<p>戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり</p>	
<p>戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化</p>	<p>■2A 産業間連携等による産業の活性化</p> <p>「経済活動広報事業」(商工労働課参事 地域雇用・産業連携)</p> <p>「商工業活性化事業」(商工労働課)</p> <p>「江別経済ネットワーク事業」(商工労働課参事 地域雇用・産業連携)</p> <p>「食を軸とした地場産品販路拡大支援事業」(商工労働課参事 商店街・観光振興)</p> <p>「野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業」(商工労働課参事 商店街・観光振興)</p> <p>「商店街参入促進事業」(商工労働課参事 商店街・観光振興)</p> <p>「総合特区推進事業」(参事 総合特区推進)</p> <p>■2B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開</p> <p>「企業誘致推進事業」(企業立地課)</p> <p>「企業立地等補助金」(企業立地課)</p> <p>「都市と農村交流事業」(農業振興課)</p> <p>「6次産業化支援事業」(農業振興課)</p> <p>「江別産農畜産物ブランディング事業」(農業振興課)</p> <p>「総合特区推進事業」【重複】(参事 総合特区推進)</p> <p>■2C 雇用の創出と人材育成の充実</p> <p>「企業立地等補助金」【重複】(企業立地課)</p> <p>「働きたい女性のための就職支援事業」(商工労働課参事 地域雇用・産業連携)</p> <p>「有給インターンシップ等地域就職支援事業」(商工労働課参事 地域雇用・産業連携)</p> <p>「高校生就職支援事業」(商工労働課参事 地域雇用・産業連携)</p> <p>■2D 地域資源の活用による観光の振興</p> <p>「観光振興計画策定事業」(商工労働課参事 商店街・観光振興)</p> <p>「地域発見魅力発信事業」(商工労働課参事 商店街・観光振興)</p> <p>「江別アンテナショップGET'S管理運営事業」(商工労働課参事 商店街・観光振興)</p> <p>「都市と農村交流事業」【重複】(農業振興課)</p> <p>「江別観光協会補助金」(商工労働課参事 商店街・観光振興)</p>
<p>戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり</p>	
<p>戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート</p>	<p>■4A ニーズにあわせた効果的な情報発信</p> <p>「総合特区推進事業」【重複】(参事 総合特区推進)</p> <p>「江別産農畜産物ブランディング事業」【重複】(農業振興課)</p> <p>「地域発見魅力発信事業」【重複】(商工労働課参事 商店街・観光振興)</p> <p>「江別アンテナショップGET'S管理運営事業」【重複】(商工労働課参事 商店街・観光振興)</p>

3. 経済部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	1,756,073	2,503,391	2,757,485	2,539,157	
	特別会計 (B)	0	0	0	0	
	合計 (A+B)	1,756,073	2,503,391	2,757,485	2,539,157	
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	27.25	28.25	29.25	31.00	
	平均単価 (b)	7,853	7,764	7,670	7,618	
	人件費 (a×b)	213,994	219,333	224,348	236,158	
総額		1,970,067	2,722,724	2,981,833	2,775,315	